

平成24年7月

市子連だより 第22号

一緒にしよいゆ！子ども会

発行所：米子市子ども会連合会 米子市東町 161-2 米子市教育委員会生涯学習課内

子ども会リーダー育成研修オリエンテーション

5月19日(土)、米子市児童文化センターで今年度の子ども会育成研修のオリエンテーションが行われました。

初対面で緊張気味の子どもたちでしたが、ジュニアリーダーによるゲームですぐに緊張も解けて仲良くなりました。

その後、7月に行われるキャンプでの役割などを決めました。

KYT(危険予知トレーニング)では、絵を見て危険を判断し、グループごとに積極的に発表していました。

これから1年間、様々な経験を通し、リーダーシップを身につけ、絆を深めてほしいと思います。



インタビュー

子どもたちに今後の抱負を聞いてみました。

☆自分の役割をきちんとして、ほかの係りの手伝いもできることが目標です。

☆ほかの班の友だちとも、もっと交流を持ちたいし、班長として班のみんなをまとめることができるようがんばりたい。



子ども会リーダー育成研修 キャンプの話し合い



《子どもたちの感想》



テントの立て方、野外炊飯の説明を受けました。



◎キャンプ、キャンプファイアー、まき割り初めてすることばかりなので、KYTを守りながら、安全に、みんなが嫌な気持ちにならないよう、よい思い出になるといいです。

◎エチュードの練習で班のみんなともしっかり仲良くなれたし、テント設営もうまくできてよかったです。

平成24年度米子市子ども会連合会前期育成者研修 子ども会KYT指導者養成講習会

6月24日(日)明道公民館にて、講師に西林いずみ氏(鳥取県子ども会育成会連絡協議会理事・米子市子連副会長・KYTインストラクター)をお迎えし、各地区から約40名の参加で開催されました。

講義では子ども会活動にKYT(危険予知トレーニング)が導入されるきっかけとなったエピソードを話してくださり、私たちの子育てや私たちが子ども会活動を進めるにあたって危険を限りなくゼロに近づけるため、また未然に事故を防ぐにはどうしたらいいのか理解を深めました。

その後、数名のグループに分かれ、危険予知トレーニングシートを使って、「見える危険」「見えない危険」「隠れている危険」をグループで話し合い、発表しました。共感しあったり、自分一人では発見できなかった答えを見つけるとができました。

この研修を通し、大人も子どもも危険だからしないのではなく、危険を予知し様々な体験をすることの大切さを感じました。



平成23年度優良子ども会紹介

車尾校区観音寺新町1丁目子ども会

会員数90名

主な活動は新入生歓迎会、自治会と共同で行うこいのぼりをあげる会、流しそうめん大会、夏のお楽しみ会などがあります。

昨年は東日本大震災の被災者の方々へのメッセージを書いた横断幕を作成し、こいのぼり運動会や校区民運動会で掲げました。また、夏には消防団と一緒に拍子木をたたきながら町内の見回りを行いました。

いずれの行事も6年生を中心に子どもたちがまとまって楽しい活動になりました。

大篠津校区旭ヶ丘二区子ども会

会員数7名

昨年は日南町の古民家で子どもたちが普段の生活ではなかなか体験できない自然体験をしました。おじいさん、お父さんの参加者から家の造り、昔使っていた道具、牛舎も家の中にあり、一緒に生活していたことを教わりました。その後、男子は薪割り、かまどでごはんを炊く準備、女子は流しそ

うめんの手伝いをし、採れたての野菜とともにおなか一杯頂きました。

午後からの川登りはとても大変でしたがみんなで助け合いながら登り、聖滝へたどり着いた時のなんとも言えない達成感は忘れることができせん。

帰りに川で捕ったメダカは、今でも家の水槽の中で元気に泳いでいます。

自然の大切さを感じ、満足できた一日でした。